

Hello! Baby-kids

8月生まれ

10月生まれの子どもを募集

●対象 町内に住み、10月で1歳～3歳になる子ども
 ●申し込み 8月15日(月)までに投稿する写真・住所・親子の氏名(ふりがな)・子の生年月日・電話番号・子どもへのコメント(22文字以内)・広報おかがきへの意見をおかがきPR課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出

中村蒼河ちゃん(1歳)
 令和3年8月19日生まれ(野間四)
 蒼くん、いつも癒しと元気をありがとう♡



松本瑛乃介ちゃん(3歳)
 令和元年8月9日生まれ(百合ヶ丘)
 よく笑つえいちゃん！これからも家族の太陽でいてね。



樽井凪音ちゃん(3歳)
 令和元年8月3日生まれ(吉木)
 いたずら好きの甘えん坊♡これからも元気に育つてね



占部月渚ちゃん(2歳)
 令和2年8月25日生まれ(三吉)
 立派なお姉ちゃんになってね！2歳おめでとう♡



松丸はなちゃん(3歳)
 令和元年8月17日生まれ(東高陽)
 笑顔がとても素敵なのはなちゃん。どんどん大きく育つてね♡



福島海翔ちゃん(3歳)
 令和元年8月4日生まれ(吉木)
 お誕生日おめでとう！これからもいにと仲良くな☆



岩枝星牙ちゃん(1歳)
 令和3年8月25日生まれ(東高陽)
 お姉ちゃんと仲良く♡1歳おめでとう！



平間巴貴ちゃん(3歳)
 令和元年8月18日生まれ(三吉)
 元気に笑顔いっぱい！育ってくれてありがとう♡



眞武航希ちゃん(3歳)
 令和元年8月8日生まれ(東高陽)
 元気いっぱい航希☆いつも笑顔をありがとう♡



短歌・俳句・川柳

〔二般の作品〕

百を生き二百をねらう元氣婆

馬場とき子

八十年我が人生の走馬燈

山村英之

聞くだけで汗が噴き出す三十度

恵家健生

麦藁で堂籠あみ暮を待つ

昔々の思い出苦し

井上アヤノ

孫の守り抱っこに散歩で汗だくだ

体力勝負にわれ奮闘中

神屋真弓

夏の夜に螢の光を追い求む

上へ下へと舞うに合わせて

御領園久美子

こぼれ種の芽があちこちに顔を出す

帽子を被り葉はつややかに

飛高弘子

電話でのオール電化の勧誘に

心動くがやはり見送る

黒瀬里美

〔言葉短歌会〕

快い温度の湯舟に足伸ばし

心で歌う水色のワルツ

早川京子

山寺の入相の鐘聞こえくる

何もせぬままひと日終りぬ

新川正恵

つくづくと老いに入りしと思ひたり

さ庭の茅に指切りし時

石松清美

〔岡垣川柳会〕

ボルシチの温もりあるや地下壕に

藤原かず子



なかみち めぐみ
仲道 恵さん

高陽区在住。三味線藤本流の総師範・大師範として、町内の公民館などで月に3回程度、三味線教室を開講している。また、町内外の演奏会にも数多くの出演歴を持つ。

募集 町民ふれあい広場では、お知らせ、サークルなどの紹介、イラスト・写真、俳句・短歌・川柳などを募集します。※営利・政治・宗教に関するものなど、掲載できないものもあります。
申し込み 掲載号の前々月15日(10月号は8月15日)までに住所・氏名・電話番号・原稿などをおかがきPR課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出※応募多数のときは抽選

助詞ひとつ変えて肩の荷軽くなり
廣渡憲峰

暗闇の中に手の肌あつたかい
山田眞理子

健康が大手ふりふり朝の道
坂本堂

青嶺岡垣俳句会
初夏や無地の茶釜の肩光る
岩崎要子

脚太き馬型殖輪麦熟る
平村久恵

踊り来るどんたく囃子大通り
天本睦子

幾方の飢ゑたる民や麦の秋
岸原邦代

サンリーアイ俳句会
二胡の音の誘ふ山河麦の風
川原和子

花胡桃皇帝陵へ白き道
須藤壽恵

まどろみの耳にひそやかほととぎす
中村和信

車イス押す手も優し菖蒲園
永島輝子

町の輝いている人や元気な人を紹介します

住人十色 第80回

「らしさ」を表現する難しさ

Q 三味線を始めたのはいつですか？

A 約50年前、ちょうど岡垣町に引っ越してきたころです。当時38歳だった私は、「何か新しい趣味を」と考えていました。広報おかがきの記事を見て参加した、民謡教室で聞いた三味線の音色に心を奪われたことを、まるで昨日のこのように思い出します。

父が和太鼓の師匠だった影響で、幼いころから楽器、特に和楽器に触れる機会は多かったように思います。そのおかげか、新たな趣味として和楽器を始めることに抵抗はありませんでした。

Q 三味線の魅力は？

A その音色はもちろんですが、私が思う一番の魅力は「難しさ」です。譜面どおりに演奏するのは簡単ですが、「その曲らしさ」を表現するとなると、曲によって弾き方を細かく変える必要があり、難易度が全く違います。弾き方によって音色を変えることは難しいと思いますが、三味線という楽器の奥深さにもつながっているのかもしれない。

Q 印象に残っていることは？

A 福岡市の演劇場「博多座」で、舞踊のプロである「舞踊集団菊の会」と共演したことです。三味線は3人で演奏しましたが、それぞれの旋律や弾き方が異なるため、いつもの演奏よりも難しく感じました。



▲「舞踊集団菊の会」と共演したときの伴奏の様子。中央が仲道さん

失敗の許されない大舞台でとても緊張しましたが、演奏をやり遂げたことで代えがたい達成感を得ることができました。

Q 今後の目標は？

A 町内で三味線を楽しむ人が増えるように、魅力を伝えていきたいです。三味線は楽器であるとともに、日本の伝統の一つ。近ごろはピアノやバイオリンを習うお子さんも増えていますが、伝統芸能である三味線や日舞にも、ぜひ触れてみてほしいですね。

そして将来、岡垣町から三味線や日舞の師範が誕生してくれたら——。と、切に願っています。